

コース
NO.37

大石内蔵助の足跡を訪ねて
赤穂義士ゆかりの地散策コース
最寄駐車場：石部神社駐車場
播磨国風土記ゆかりの地コース
赤穂義士ゆかりの地コース

約 **15** km
健脚向

約 **4** 時間
(休憩時間を除く)
所要時間の目安

- 石部神社
スタート
約100分
- 久学寺
約40分
- 東光寺
約50分
- 礪崎神社
(奥野将監屋敷跡)
約50分
- 石部神社
ゴール

【問合先】
加西市観光案内所
(北条鉄道 北条町駅内)
TEL 0790-42-8823
久学寺
TEL 0790-44-1405

コースガイド

石部神社をスタートし、県道145号線を北西へ歩く。広原の交差点を右折し、大歳神社があるT字路を左折。その後、橋を渡って右折し川沿いの道を北へ歩く。ガードレールが見えてきたら十字路を右折し突き当たりを左折。途中池があり、さらに奥に進むと久学寺に到着。苔むした参道は趣きがある。見学後引き返し、T字路を右折し、女切峠を越える。しばらく進むと道路敷きに石仏が見えるので右折すると、右手に東光寺、左手に金剛院がある。来た道に戻り、右折し進む。カーブミラーのある道を左折し、道なりに歩いていくと左手に八幡神社の鳥居が見える。そのまま道なりに歩き岩崎橋を渡り、すぐに左折して、川沿いの道を南へ歩く。そのまま川沿いの道を進むと少し大きな道と合流するので、左折し、車に気を付けながら歩き、構江橋を渡り進んで行こう。道なりに進むと、左手に礪崎神社があり、神社を上がると奥に赤穂藩の重臣であった奥野将監の屋敷跡がある。礪崎神社をあとにし、もとの道に戻り南へ進むと県道145号線に合流する。合流したら左折し、田園風景を楽しみながらどんどん歩いて行くと、広原の交差点に到着する。そのまま、まっすぐ歩くとゴールの石部神社へ到着。



イチオシ 河上山 久学寺

赤穂藩主浅野家の三がく寺の一つ。赤穂藩の飛地であったこの地は、赤穂藩に国替えとなった際、浅野内匠頭長直が視察に訪れ久学寺に宿泊しました。そこで当時の住職に深く帰依され、寺領を寄進し浅野家の菩提寺としました。新田開発で訪れていた大石内蔵助も宿泊所として利用しており、江戸城での刃傷事件の際は、久学寺で住職と囲碁を打っていた最中に報告を受けたと伝えられています。(住所:加西市上茶田町982)



トピックス
【農家レストラン土一七日屋台 (どいなかやたい)】
名物のぼたん鍋(要予約)をはじめ地元の食材を使用した「土一七日定食」等の食事を提供すると共に、どぶろく・甘酒「女切峠」や農産物など、地域の特産品も販売しています。定休日：水曜日
TEL:0790-44-0150

トピックス
【礪崎神社(奥野将監屋敷跡)】
赤穂藩重臣の奥野将監は江戸城の刃傷事件後、大石内蔵助とともに藩士の取りまとめにあたりましたが、浅野家再興の望みが絶たれると討ち入り一派から脱盟してしまいました。その後、一時、隠棲していたのが礪崎神社脇の山林といわれています。

